



# 上尾ロータリークラブ

2012-13年度J.テーマ  
奉仕を通じて平和を



## 第2462回 例会 会長あいさつ

2012.10.11

島村 健会長

週報 No. 1936  
発行 2012年10月25日  
会長 島村 健  
幹事 齋藤 博重  
副会長 関口 和夫  
副幹事 齋藤 哲雄  
編集責任者・  
クラブ広報委員長 横山 泰史

ゲスト  
2006年 社団法人 日本青年会議所  
領土・領海問題委員会 委員長  
門崎 由幸様  
米山記念奨学生  
周 京梅さん

行事予定  
11月1日 卓話  
11月8日 理事会  
11月15日 卓話  
11月22日 地区大会に振替  
11月29日 結婚・誕生祝い  
(時間変更)

先日、齋藤幹事からご連絡をさせていただきましたが、元会員で第25代会長の岩津様をご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

本日は門崎さんお忙しい中ありがとうございます。後ほど、卓話を頂戴したいとおもいますのでよろしくお願いたします。  
先週は、公式訪問例会、クラブ協議会と大変長時間になりましたが、ありがとうございます。齋藤出席委員長が、今年一番の出席率と発表いたしました。多くの皆さんに出席いただきありがとうございます。特にクラブ協議会では、活発な意見交換ができて帰りにガバナーも有意義な例会、クラブ協議会だったと言っておられましたのでお伝えしたいと思います。懇親会ができなかったのが残念でしたが、合同例会もありますので、51回で、55クラブ目の例会ということで、今年は地区大会までに公式訪問例会を終了するので、かなり日程がきつくなっていると思います。その関係で、当日もそうでしたが一日二箇所が多く組まれているようです。

秋らしいさわやかな季節となりました。8日の月曜日が体育の日でしたが、まだ10月10日と思っている方もいるかもしれません。上尾市国際交流協会主催の第20回目になります上尾ワールドフェアが上尾文化センターで開催されました。私も役員の一で、大ホールのステージ担当係で参加をいたしました。31の国と地域が参加し、各国の、料理、踊りや音楽、そして文化の紹介がありました。今、上尾市に住んでいる外国籍の方は約2300人です。上尾市の人口が約23万人ですので1パーセント、100人に1人になります。中国、フィリピン、韓国、ブラジル、ペルーその他の方がお住まいです。今年はダニエルカールの記念講演がありましてちょっとお話ししたいと思います。昨年の東日本大震災後ですが、当初、情報が錯綜し、震災を受けた日本の各自治体が混乱する中、主に東北に在住する在日外国人に向け、的確な情報を伝えるため、YouTubeに日本のニュースを英訳し、自身の言葉で伝えたそうです。



AGEO ROTARY CLUB

◆本日、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より米山功労クラブとして表彰されました。

### 委員長報告

**ロータリー財団委員会 名取勝委員長**  
本日、小林会員から寄付をいただきましたので、ご報告させていただきます。ありがとうございます。寄付は強制ではないですが、ロータリー活動そのものは寄付で動いていますので、これからも寄付へのご協力よろしくお願いたします。



**米山記念奨学会委員会 大塚崇行委員長**

本日、大塚バスターより米山基金へ寄付をいただきました。ありがとうございます。本日ももちまして米山奨学金の特別寄付が100%を達成いたしました。奨学生の周さんが積極的に例会に参加してくれているおかげで、米山基金への理解がクラブ会員に広まっていると思います。ありがとうございました。



### ゲスト挨拶

**米山記念奨学生 周京梅さん**

みなさんこんにちは、本日は奨学生の活動についてお話ししたいと思います。9月末に川口市にある老人ホーム施設に私と同じ奨学生数名と行って来ました。その中で、各国の民族衣装を披露してダンスや歌などを披露しました。また10月は奨学生が他のクラブに行って卓話をする活動をしています。昨日、私も卓話をしに行っていました。先月の中旬から中国で暴動が起きています。私はとても残念に思います。中国の知人から



AGEO ROTARY CLUB

は大丈夫か？危なかったら帰って来なさいと言われてました。こういう時こそ私達留学生が自分のやるべき役割を果たす時だと思います。私個人としては日本の素晴らしさそして日本での活動を自国の友達へ発信しています。ありがとうございました。

### 卓話

#### 門崎由幸様

本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。私は上尾ロータリークラブの会長であります島村会長が理事長を務めておりました1994年に旧上尾青年会議所に入会しました。青年会議所のOBの方が上尾ロータリークラブにいらっしゃると思っています。



それでは本題に移りたいと思います。今、日本そして国際社会においても騒がれている問題それは尖閣諸島問題、竹島問題、北方領土問題です。私が領土・領海問題委員会の委員長の時にこの領土問題は青年会議所で解決出来るのかと考えました。考えた結果私はこの問題は青年会議所では解決できないと思えました。いままでの委員長はなかなかその部分に触れることはなかったと思います。最終的には国と国との間で交渉を進めないとい何も進みません。ただこの青年会議所が何をすべきか、国民に対していまの現状をそして、危機感をどれだけ感じていただけるか、それが一番大事な事ではないかと感じております。6年前に尖閣諸島問題に対して当時の会頭が一番力を入れておりました。その時に、尖閣諸島に上陸を考えたりしましたが、色々調べた上で国にも交渉等を行いました。皆さんご存知のとおりこの尖閣諸島はさいたま市の方が所有しております。そして2002年くらいから総務省が借りているという状況です。私は総務省に、何故尖閣諸島に行けない理由を聞きに総務省にきました。結果、日本国として安全を保証することができないという理由で尖閣諸島に行くことは出来ませんでした。

しかしながら今になってやっと国民がこの問題に対して関心を持ってくれたのかなと感じております。まずは国民が立ち上がってこの日本の形をしっかりと把握する事が重要です。これは国益に繋がる重要な問題です。1994年に排他的経済水域 (EEZ) が国際社会に認められまして、200海里が自国の排他的経済水域と認められました。日本は領土としては世界で59番目ですが、領海を含めると世界で6位となります。この領海を管理は国の責任であり我々国民も理解しなくてはならないと思います。

いま中国と尖閣諸島問題が騒がれていますが、私が思うにやはり歴史認識そして各国々の教育に左右されていると思います。領土問題は争うのではなくそれを活かしてどう国益に繋げていけるかが一番大事だと思います。海は世界に繋がっているから日本と中国だけの問題ではありません。この問題にしっかりと取り組むことが重要で、国際社会は日本と中国の動向に注目しています。日本の自給率は40%で50年前は60~70%でした。もし海を利用した輸送が出来なくなったらこの今の状況を維持が難しくなると思います。また、この領海問題はエネルギー問題にも関わってきます。竹島周辺にはメタンハイドレードがあります。

このメタンハイドレートは普通ガスより燃焼率が10倍あります。日本近海にはこのメタンハイドレートが100年分埋まっていると言われております。ただこのメタンハイドレートが資源として使えるかどうかは不明です。尖閣諸島付近にある日中中間線と言いますが、海底は日本と中国で繋がって行っています、日本側にあるガスももしかしたら採られてしまうという可能性があります。私が委員長の時は国会議員との合同で勉強会に参加しました。

その中で尖閣諸島周辺のガス田については私は質問しました。そこで、いただいたお答えは尖閣諸島でのガス田建設には100兆円の予算が必要で採れるガスは50兆円分しかないからやらないというお答えでした。

しかしながらそれは当時の予想であっていまでは50兆円以上の物があるという結果が出ています。

いま一番大事な事は日本がどういう動きに出るか、また排他的経済水域をどれだけ管理できるか重要です。竹島問題ですが、国際会議においても色々と言われております。国際的には両国の問題は両国の間で解決してくださいと決められています。また、裁判に関しても両国が出てこない裁判として成立しません。間に第3国が入ることはないのです。ただ、私が思うになかなか両国間での解決は非常に難しいと思います。今後は国際社会でこういった問題解決するシステムが必要だと思います。竹島にも上陸をしようと試みましたが、それは危ないということで断念しました。いまは韓国が武力占拠しております。

いま韓国には竹島(独島)への旅行があります。これは日本人でも参加できます。この旅行に日本人がどれだけ参加したかリストを付けているそうです。このリストを付ける理由として、竹島は韓国の島だと認めたという実績を作りたいそうです。国際社会においてはやはり実効支配が一番強い流れになっております。この現状をどう打破するのか考えていかなければ、おそらく今のままでは竹島は韓国の物になると思います。竹島には地下資源が豊富にありますので、国益に直結します。しっかりとこの問題を理解していただきたいと思っています。ここにいる皆様にはこの情報を出来るだけ多くの人に広めていただければ大変嬉しいです。

様々な経験を私もしてきましたが、領土問題は国民が解決するのではなく国と国との交渉で解決していきます。国に交渉させる場に立たせるには国民に意識が重要となってきます。私もモスクワ大学の学生と交流させていただいた中で、その学生さんはロータリーのおかげで日本に留学できていると言っていました。先ほど、留学生の周さんがお話しされていましたが、しっかりとロータリー活動の結果がでていると思えます。中国からの学生と交流することによって、日本を理解していただいてその方が国へ帰ってしっかりと伝えていただくことが大事だと思います。ご清聴ありがとうございました。



門崎様、卓話ありがとうございました。

出席	会員数	36	出席数	27
欠席	欠席数	9	(%)	75.00
前回回確定			欠席数	5
修正 (%)	85.71		(M・U)	10

**スマイル 33,000円**

- 島村会長 門崎さん卓話ありがとうございます。
- 齋藤博重幹事 門崎さん卓話ありがとうございます。
- 齋藤哲雄副幹事 門崎さん卓話ありがとうございます。

吉川会員 藤村会員 吉野会員 長沼会員 大塚信朗会員 名取会員  
富永会員 尾花会員 神田会員 井上会員 武重会員 小林会員 村岡会員  
大木会員 大塚崇行会員 細野会員 渡邊会員 岡野会員 齋藤重美会員  
萩原会員 久保田会員 深澤会員 横山会員 須田会員 宇多会員  
野瀬会員 樋口会員

